

## ★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 前田英作 副委員長 内田誠一・藤吉弘亘

幹事 近藤一晃・木村昭悟 幹事補佐 大西正輝・船富卓哉

日時 12月15日(木) 13:00~17:40

16日(金) 9:30~17:00

会場 鳥取大学鳥取キャンパス広報センタースペースC (鳥取市湖山町南4-101. JR鳥取大学前駅から徒歩3分, あるいはJR鳥取駅からタクシーで約15分. <http://www.tottori-u.ac.jp/2681.htm> TEL [0857] 31-5750 西山正志)

議題 PRMU グランドチャレンジ

### 15日 企画セッション(1)

1. [招待講演] PRMU グランドチャレンジ再始動—第一期の振り返りと第二期への期待—

○内田誠一(九大)・前田英作(NTT)・佐藤真一(NII)・佐藤洋一(東大)・日浦慎作(広島市大)・福井和広(筑波大)・鷺見和彦(青学大)・馬場口 登(阪大)

2. [招待講演] メディア理解の多重性とその解消に向けて—PRMU 第二期グランドチャレンジ—

木村昭悟(NTT)

3. [招待講演] 教師あり学習における良い負事例とは?—PRMU 第二期グランドチャレンジ—

船富卓哉(奈良先端大)

### 企画セッション(2)

4. 柔らかなパターン認識と動的なデータセットについて—PRMU 第二期グランドチャレンジ—

安倍 満(デンソー IT ラボ)

5. [招待講演] コンピューティングのためのPRMU, PRMUのためのコンピューティング—PRMU 第二期グランドチャレンジ— 松下康之(阪大)

6. [招待講演] 我々が見つけられていないパターンとは何か?—PRMU 第二期グランドチャレンジ—

中澤篤志(京大)

7. [招待講演] マルチメディア領域のグランドチャレンジ—PRMU 第二期グランドチャレンジ—

山崎俊彦(東大)

### アルゴリズムコンテスト表彰式

8. 第20回パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU) アルゴリズムコンテスト表彰式 川西康友(名大)

### 16日午前 テーマセッション

1. 画像情報を用いた人の追跡とその応用例 第2報—みんなで考える人流解析グランドチャレンジ—

○大西正輝・依田育士(産総研)

2. [ショートペーパー] 歩行者検出におけるグランドチャレンジ ○藤吉弘亘・山下隆義・山内悠嗣(中部大)

3. 無形概念認識の実現に向けてどんな技術が求められるのか? ○橋本敦史(京大)・船富卓哉(奈良先端大)

4. これからのコンピュータビジョン技術—cvpaper. challenge in PRMU Grand Challenge 2016—

○片岡裕雄・白壁奏馬・賀 雲(産総研)・阿部香織(東京電機大)・上田隼也(筑波大)・鈴木哲平(慶大)・松崎優太・岡安寿繁・矢部俊之・金原慶拓・八柳洸哉・丸山慎也・高澤良輔・淵田正隆・森田慎一郎(東京電機大)

### 16日午後 一般セッション(1) (12:45~)

5. 先進運転支援システムにおける歩行者検出の研究動向

○福井 宏・小芝駿王・山下隆義・山内悠嗣・藤吉弘亘(中部大)

6. Binarized-DCNNによる識別計算の高速化とモデル圧縮

○神谷龍司・山下隆義(中部大)・安倍 満・佐藤育郎(デンソー IT ラボラ)・山内悠嗣・藤吉弘亘(中部大)

7. 時系列を考慮した頭部方向と関節位置からのグループ飲食行動認識 ○家永直人・小篠裕子・斎藤英雄(慶大)

8. 測地線的隣接性による局所保存型手法を用いた顔画像からの感情の解析 ○坂本博康・吉永幸靖・王 楠(九大)

### 一般セッション(2)

9. 解像度推定を用いた低画質人物認識 ○尾原啓司・吉村宏紀・西山正志・岩井儀雄(鳥取大)

10. 屋外における背景変動, 移動物体の影に対応した背景差分法

○豊田将志・吉村宏紀・西山正志・岩井儀雄(鳥取大)

11. ピッチング映像からの骨格の動きの抽出 ○櫻田哲也・守田 了(山口大)

12. コミックからのキャラクターの抽出 ○地頭洋樹・守田 了(山口大)

☆PRMU 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2017年1月19日(木), 20日(金) 京大吉田キャンパス百周年時計台記念館 [締切済] テーマ: 人の生活・活動を支えるCV/PR/AR

2月18日(土), 19日(日) 北大 [12月1日(木)] テーマ: 実世界センシングと応用

3月20日(月), 21日(火) 名城大 [1月6日(金)] BioX研究会共催

## テーマ：安心安全と社会

防犯カメラをはじめとする様々なセンサは我々の生活に広く浸透し、安心安全に欠かせないものとなっています。これらの映像や各種センシング情報を人間が全て確認するのは極めてコストが高いため、機械が自動で認識・解析する行動認識・環境理解技術が不可欠なものとなっています。特に、顔認証や指紋認証をはじめとする生体認証やジェスチャー認識は、機械とのインタフェースとして既に実用化が進んでいます。更に、行動認識・環境理解技術による安心安全の実現は、近年開発が加速している自動車の自動運転や介護見守りシステムにおいても、大きな注目を集めています。その一方で、監視カメラやスマートフォンの位置情報によるプライバシー侵害など新たな問題も懸念されています。

このような背景から、テーマセッションとして「安心安全と社会」を企画致しました。本テーマセッションでは、これらのテーマに関する基礎研究、要素技術、及び応用研究に関する発表を広く募集致します。

なお、上記のテーマセッションに加え、一般セッションも開催致しますので、併せて投稿の御検討よろしくお願ひ致します。

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

PRMU 研究会幹事

E-mail : [prmu-organizer@mail.ieice.org](mailto:prmu-organizer@mail.ieice.org)